

⑨ 日本国特許庁 (JP) ⑩ 審査請求未請求  
 ⑪ 実用新案出願公開  
 ⑫ 公開実用新案公報 (U) 昭55—173307

⑬ Int. Cl.<sup>3</sup>  
 A 61 B 17/36

識別記号 庁内整理番号  
 7058—4C

⑭ 公開 昭和55年(1980)12月12日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑮ 体腔内の組織切除器

⑯ 実願 昭54—74066  
 ⑰ 出願 昭54(1979)6月1日  
 ⑱ 考案者 小宮修

八王子市大谷町23の3

⑲ 出願人 オリンパス光学工業株式会社  
 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番  
 2号

⑳ 代理人 弁理士 鈴江武彦 外2名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

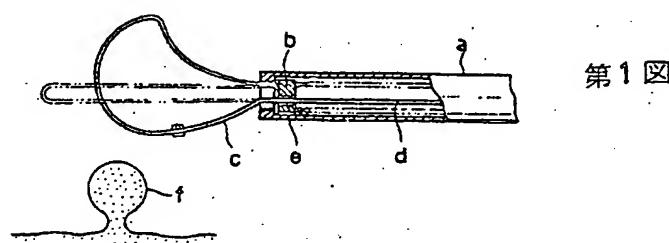
可撓チューブと、この可撓チューブ内に進退自在に配設されその進退方向に透孔を穿設したスライダと、屈曲部を有し一端を上記スライダに取着し他端を上記スライダの透孔を通つて手元へ伸び、上記可撓チューブ内に進退回動自在なコイルに接続したループワイヤとからなる組織切除器において、上記スライダの透孔およびループワイヤのコイルとの接続部を長手軸に対して偏心させるとともに少なくともループワイヤのコイルとの接続部近傍の硬さを硬くしたことを特徴とする体腔内の

組織切除器。

図面の簡単な説明

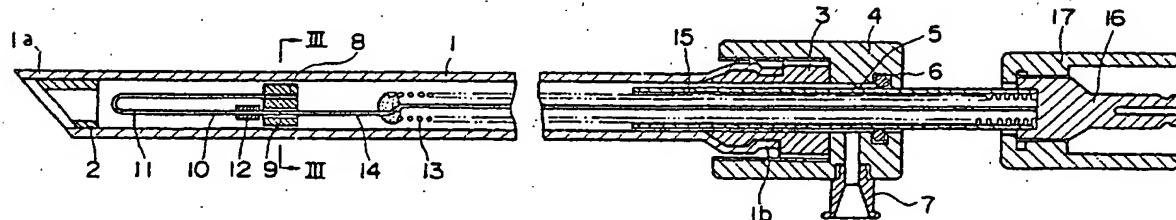
第1図は従来の組織切除器を示す一部切欠した側面図、第2図はこの考案の一実施例を示す組織切除器の縦断側面図、第3図は第2図III—III線に沿う断面図、第4図はこの考案の他の実施例を示す一部の縦断面図である。

1……可撓チューブ、8……スライダ、9……透孔、10……ループワイヤ、11……屈曲部、13……コイル。

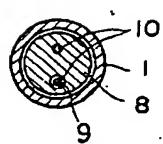


第1図

第2図



第3図



第4図

